

学位プログラム DP レビュー

2025 年度 看護学部

1. 現状の説明

①授業実施評価レポート

成績評価における「透明性・客観性・妥当性・公平性」の 4 つの視点については、約 8 割の学生が「不足する科目はない」と回答しており、全体として概ね良好な結果であった。一方で、「不足する科目が 1~2 科目ある」または「いくつもある」と回答した学生も一定数存在している。特に 1・2 年生の低学年では、これらの視点について「不足を感じる科目がある」と回答した学生が 2 割を超えており、成績評価の透明性に対して疑問を感じている学生が一定数いることが確認された。学部内で検討した結果、シラバスへの評価方法の記載や授業内での評価基準の説明は概ね実施されていることが確認された。しかしながら、成績評価に疑問を感じている学生が一定数存在すること、また大学での学修に慣れていない低学年にその傾向が高いことから、評価基準や評価方法についての説明をより丁寧に行う必要があると判断した。今後も、学生への成績評価方法の周知および各科目における評価方法・評価基準の確認について継続的に取り組むこととした。

成績分布については、演習・実習科目を除き、受講者数の多い科目の中で S 評価が 3 分の 2 を超える科目はなく、成績分布は概ね適正に維持されていた。また、「不可」が極端に多い科目も認められなかった。履修状況については、受講者数が 0 名の科目が 2 科目（保健社会調査論、臨床心理学）、受講者数が 9 名以下の科目が 2 科目（看護教育学、キャリア像確立講義Ⅱ）であった。学生の履修状況や科目の必要性等について検討した結果、現行カリキュラムに特段の問題はないことを確認した。

②DP アンケート

DP アンケートの全項目平均値は 4.74 であり、ほとんどの項目において前年度より 0.1~0.2 ポイント上昇した。この結果から、学生が専門職として必要な能力について、4 年間の学修成果を概ね高く評価していることが確認された。また、看護学の知識・技術に関しては、技術テストの実施やシミュレーターの活用など、学生の技術習得を支援する教育環境が整いつつあることが示された。一方で、技術テスト前の練習室の混雑について学生からの指摘があり、今後は学修環境の調整について検討する必要がある。

③進路・資格試験・留年・退学状況

2024 年度の卒業生 95 名のうち、就職希望者は 82 名、進学希望者は 10 名であり、就職率・進学率はいずれも 100%であった。就職先の内訳は、病院・診療所 65 名、官公庁（保健師等）11 名、養護教諭 6 名であり、進学者は 10 名であった。これらの結果は、高度な判断力と実践能力を備え主体的に対応できる看護職の育成という看護学部の教育目的と整合しており、多様な分野で活躍できる看護職の育成につながっていると考えられる。

資格試験については、卒業生（現役）の国家試験合格率が看護師 98.9%、保健師 100%であり、いずれも全国平均（新卒）を上回る結果であった。また、退学者はおらず、留年生は 6 名であり前年度より減少した。留年理由の内訳は、留学 1 名、家庭事情 1 名、進路検討・経済的理由 3 名、健康上の理由 1 名であった。

2. 2024年度対応プランの結果

成績評価・成績分布については、学生が評価内容や評価方法を理解できるよう、担当教員に対してシラバスにディプロマポリシーごとの到達目標および評価基準を明確に記載することを求めた。また、授業初回時にシラバスを用いて評価方法等について学生に説明することを徹底した。さらに、授業内や最終回において定期試験の範囲や出題方法等を説明し、学生からの質問を受け付けることで、成績評価の透明性および公平性の確保を図った。一方で、成績評価の4つの視点において「不足する科目はない」と回答した学生の割合がやや低下していたことから、現在の対応に加えてさらなる改善策を検討する必要がある。

進路・資格試験については、就職率・進学率が100%であり、国家試験合格率も全国平均を上回る良好な結果が得られていることから、看護学部における専門教育およびキャリア支援の成果が確認された。

留年・退学については、留年者数は前年度より減少したものの、進路検討を理由とする留年が最も多かったことから、今後も学生に対する丁寧な支援を継続する必要がある。

3. 今回の課題と対応プラン

成績評価・成績分布については、特に早急な改善を要する課題は認められなかった。しかしながら、特に低学年の学生に対しては、学年初めのオリエンテーションにおいてシラバスの活用方法や成績評価基準、評価方法の確認方法についてより丁寧に説明し、学生の理解を促進する必要がある。また、授業内容を変更する場合には、評価方法の変更も含めて学生に十分な説明を行うことを徹底し、提示した評価方法の透明性と妥当性を担保する。

DPアンケートからみた4年間の学修到達度については、全体として大きな問題は認められなかったが、学生が主体的に学修を進められるよう、学修環境の調整について検討する。進路・資格試験については良好な結果が得られていることから、これまで実施してきた進路相談および学修支援を継続していくことが重要である。また、留年者は前年度より減少しているものの、毎年一定数発生しているため、アドバイザーによる履修指導や学修支援、学生相談を引き続き実施する。

4. DP達成状況のまとめ

成績評価および成績分布については適正な状態が維持されている。また、DPアンケートにおいても全体として高い評価が得られており、学生の学修到達度は十分な水準に達していることが確認された。さらに、進路状況や国家試験合格率、留年・退学の状況についても概ね良好であり、大きな課題は認められなかった。

以上の結果から、本学位プログラムはディプロマポリシーに基づき適切に実施されており、教育成果は概ね良好であると評価できる。

添付資料：①「DPアンケート」

②「進路、資格試験、留年、退学状況（資料はこちらをクリック）」

③「授業実施評価レポート」

2025年6月19日

看護学部 殿

教務・共通教育部会

看護学科 ディプロマ・ポリシーアンケート結果報告 (2024年度)

1. ディプロマ・ポリシーのアンケート結果

	質問項目	平均値	標準偏差
1	入学時に比べて、異なる文化や価値観を尊重しながら他者とともに生きていく姿勢を身に付けることができた。	4.57	0.67
2	入学時に比べて、社会の諸問題についての必要な情報を収集、分析、表現する力を身に付けることができた。	4.62	0.55
3	入学時に比べて、異なる文化や価値観を尊重しながら他者と共に生きていく姿勢を身に付けることができた。	4.67	0.57
4	看護学部での学びで、対象を支援するために必要な専門知識が身に付いた。	4.80	0.40
5	看護学部での学びで、科学的根拠に基づいて対応できる問題解決能力が身についた。	4.77	0.42
6	看護学部での学びで、対象にあわせて、根拠に基づいた適切な看護を選択する力が身についた。	4.79	0.41
7	看護学部での学びで、対象にあわせて、安全で適切な専門的看護技術を有している。	4.69	0.50
8	看護学部での学びで、柔軟な思考を持ち、他者との違いを理解した上で、自分の意見を伝えることができるようになった。	4.74	0.44
9	看護学部での学びで、他者に対して関心を持ち、人間関係をつくる態度が身についた。	4.79	0.41
10	看護学部での学びで、看護の役割を自覚し、健康に関する諸問題を主体的に探究することができるようになった。	4.77	0.46
11	看護学部での学びで、対象の問題を解決するために多職種と連携する意欲と態度が身についた。	4.79	0.45
12	看護学部での学びで、看護者として異なる価値観や文化を理解・尊重する倫理観や責任感が身についた。	4.84	0.37
	全項目平均	4.74	

自由回答

<ul style="list-style-type: none"> ・先生が丁寧に教えてくださるので良かったです ・教職員の方々に気軽に質問ができること ・時間をかけて学ぶことができること ・先生方が親身に学生の話聞いて下さり、アドバイスを下さった点がとても良かったと思います ・シミュレーター人形を使って演習できること ・先生が優しく相談に乗ってくれた ・先生方が優しく教育して下さる。 ・先生がやさしい ・先生に聞きやすい環境がよかったです ・座学で学んだことを演習で実践する流れで、理解しやすかった点 ・手技テストがあってよかった。自信につながった。 ・演習でグループごとに担当の先生が指導して下さったので、安心して演習できてよかったです。
--

- ・ 責任能力や専門知識を身につけられる点
- ・ 先生方が丁寧に親身になって指導や相談等して下さり、とても学びやすい環境でした。
- ・ 友人と高め合いながら看護技術について学べる
- ・ 生徒の話し合いの場が多く、相談しながら勉強を進めることが出来た。
- ・ 技術テスト前の練習室の開放数を混むので増やしてほしいです。
- ・ 看護師の先輩である先生が国試に必要な知識を十分に教えてくれます。
- ・ 教員に相談しやすい環境が整っていて良かったです。
- ・ 丁寧に指導していただき、福岡県立大学で学ぶことができよかったですと思っています。
- ・ 先生方の人数が多く、手厚くご指導いただけたことが良かったです。
- ・ 先生方が優しく教えてくれました。
- ・ 先生が私たちのことを考えて勉強を教えてくれるのがいいところだと思います
- ・ 保健師課程の学びが充実している点が良いと思います。
- ・ 自分で考える力をつけることができる
- ・ 学生に寄り添った教育を今後もお願いします。
- ・ 先生たちが丁寧に指導をしてくださることが良い点だと思います。
- ・ 専門的知識を身につけられた。
- ・ 看護学部の演習では、学生に対する先生方の人数が多く、わからないことがあっても気軽に質問し、指導を受けることができよかったです。
- ・ 先生がみんな親身に相談に乗ってくれるため、相談等しやすかった
- ・ 患者の問題点だけでなく、強みを発見してその強みを活かすためにどのように働きかけていくか考えられることも大切だと学ぶことができた。
- ・ いい先生方に恵まれて、様々なことを乗り越えることができたと思います。

2. 結果について

全項目で平均値が 4.5 を超えており 12 項目の平均値も 4.74 であることから、学生からは 4 年間の学修の成果について高く評価していると考えられます。また、項目の 1 以外の項目が、前年度よりも 0.1～0.2 ポイント高い値を示しています。

自由記述の内容から、教員との関係性が良好であることがうかがえます。看護学の知識・技術については、昨年度は看護技術の習得に関する要望が上がっていましたが、本年度は手技テストによる自信やシミュレーターの活用ができる等の記載があり、学生の技術習得に向けた環境が整いつつある一方で、技術テスト前の練習室が混んでいる等の情報もありました。今後、学生の主体性をより伸ばしていける環境調整の工夫について検討する必要があると考えられます。

授業実施評価レポート 2025年度 看護学部

1.2024年度の状況

①成績評価アンケート

看護学部学生を対象とした成績評価アンケートの結果は、4つの指標について約8割の学生が「不足する科目はない」と回答しており、概ね良好であった。しかしながら、これらの項目の中で「不足する科目が1つか2つあった」「不足する科目がいくつもある」と回答した学生が一定数いた。また、低学年である1、2年生においては、これらの項目の中で「不足を感じる科目がある」と回答した学生が2割を超えており、透明性に疑問を持つ者が多い傾向であった。自由記述においては、内容のほとんどが成績評価基準についての内容であり、これらの点について検討を求められた。

本件については、学部内で検討した結果、全体としての結果は良好であり、シラバスへの記載や授業内での評価基準の説明等は行われていることが確認できた。しかしながら、成績評価について疑問を持っている学生が一定数おり、特に、大学での授業に慣れていない低学年の学生にその傾向が高いことなどから、評価基準や評価方法等の説明を行うことを確認し、学年初めのオリエンテーションでも、本学の成績評価の方法や目的についてより丁寧に詳細な説明を行うことにした。

②成績分布及び受講者数

成績分布について、専門基礎科目及び専門科目の全体の成績分布はA評価が最も多く次いでS評価、B評価、C評価の順で、不可、未受験及び無資格はほとんどなく、学科全体として、成績分布は一定のバランスが取れており、大きな問題はなかった。

演習・実習科目を除き、受講者数が多い科目の中でS評価が2/3を超えている科目は0科目であった。また、S評価が0人の科目が7科目みられた。これを受けて、担当者に確認したところ、全科目ともにシラバスに示している評価基準に基づいて評価を行っており、受講者数が少ないことや学年の特徴により定期試験の結果が全体的に低く、学修が不足している学生が多かったこと等が原因と考えられた。この結果を受けて、評価基準の見直しを行うと同時に国家試験受験のための必修科目では、国家試験出題基準の内容や学生のレディネスに留意しながら評価結果を確認し、教育目標、教育内容、評価基準、評価方法の妥当性の検討を行った。

受講者数については、受講者数が0名の科目は2科目、受講者が9名以下の科目は2科目であった。看護学部は必修科目が多く、実習期間が長いことから、これらの選択科目を受講する余裕がないことや、希望しても受講しにくいことなどが考えられた。また、これらの科目概要が、学生に十分に伝わっておらず科目受講の必要性を感じていないことなども原因として考えられた。

受講のしやすさについては、2022年度より開始された新カリキュラムの中で、科目の編成や内容の検討を行っており、時間割も含めた見直しを行っていることから、新カリキュラムに完全に移行する2025年度まで経年的に確認して判断することとした。科目の内容としては、受講者数が少ないものの、これからの時代のニーズにマッチした科目も多く、受講することにより専門家としての視野も広がることから、科目の必要性は高いと考えられた。学年初めのオリエ

ンテーションにおいて、学生への科目の魅力を発信し、受講することにより得られる力を説明する場を設ける。また科目によって

は、ケアリング・ナーシングプログラムの履修証明の要件科目であることから、そのことも含めて学生に情報提供していくことも必要であることを確認した。

2.2024年度レポート対応プランの結果

2024年度は以下のとおり対応した。前年度の2023年度レポート対応プランを受けて、

①成績評価については、学生が評価内容や方法を理解できるように担当教員にシラバスの中でディプロマポリシーごとに到達目標や評価基準を詳細に記載することを求めた。また、授業の初回時にシラバスを用いて評価方法等について学生に説明を行い、さらに授業内や最終回に定期試験範囲、出題方法等を伝え、学生からの質問を受け付け、透明性と公平性を担保した。2023年度と比較すると、透明性、客観性、妥当性、公平性において不足する科目はないと感じている学生の割合が低下していることや1、2年生の2割程度が不足する科目があると感じていたことなどから、現在の対応に加え、学年初めのオリエンテーションにおける対応策の検討を行った。

②教員間で全体的な成績分布についての情報共有と点検を行い、シラバス作成時に科目の特性や目的及び到達目標、評価方法について確認した。また、過去の受講者数及び成績結果状況報告において報告のあった科目について、可能な範囲での時間割の見直しや、年度初めのオリエンテーションで学生に対して科目の説明を行い、受講者の増加に至った科目もみられた。その結果、学科全体の成績分布は一定のバランスがとれているとともに、不可や無資格の学生が少ない結果となった。

3.対応プラン

①2023年度に実施した対策を継続して行う。特に低学年の学生には学年初めのオリエンテーション

でシラバスの活用法や成績評価、評価基準の確認方法についてより丁寧な説明を行い、学生の理解を促し、提示した評価方法が担保されるようにする。やむを得ず学修内容を変更する場合は、評価方法の変更も含めて学生への丁寧な説明の実施を徹底する。

②成績分布については、前年度と同様、大きな問題は認められなかったため、今後も教員にシラバス作成時に科目の特性や目的及び到達目標、評価方法について再確認し現状維持を努める。受講者数については、2022年度に開始した新カリキュラムの中で、科目の編成や科目内容の変更の必要性を受講者数の状況を踏まえながら2025年の完全移行まで経年的に確認していく。また、必要に応じて時間割の見直しも行う。

添付資料

- ・看護学部 成績評価アンケート結果報告
- ・看護学部 受講者数及び成績結果状況報告
- ・看護学部 カリキュラムマップ・カリキュラムツリー

2025年6月18日

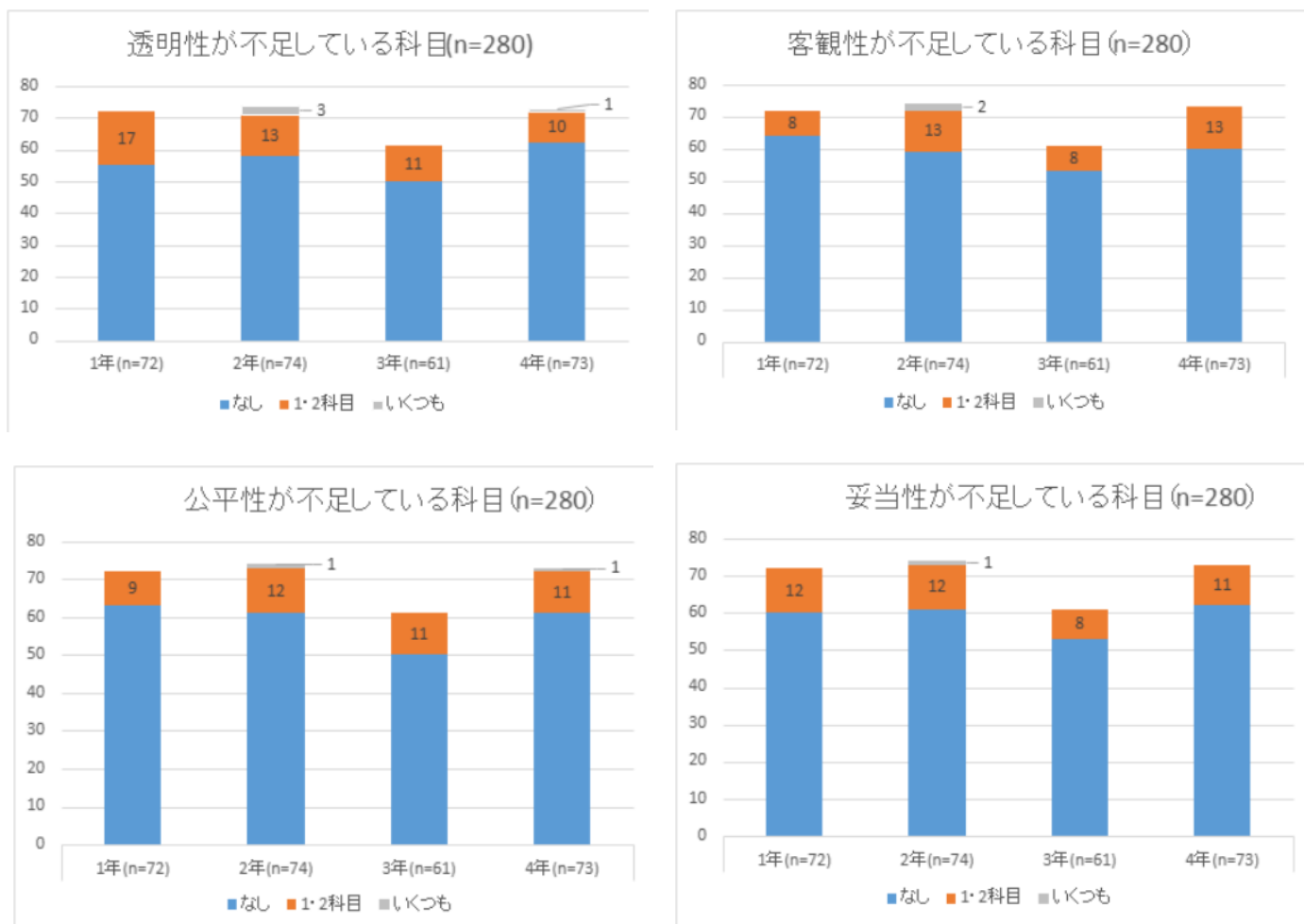
2025年6月18日

看護学部 殿

教務・共通教育部会

看護学部 成績評価アンケート結果報告（2024年度）

1.成績評価アンケートの結果（専門科目）



表内の数値は人数

2.結果について

(1) 各項目の「なかった」の割合は、透明性：76.4～84.9%、客観性：79.7～88.9%、妥当性：82.4～86.9%、公平性：82.0～87.5%でした。成績評価における「透明性」、「客観性」、「妥当性」、「公平性」が不足する科目があると感じている学生が1割以上いる結果となりました。

(2) 成績評価の透明性：特に1年生は4人に1人、2年生3年生においても2割の学生がそのような科目が1科目以上あったと感じています。成績評価の方法や時期、評価基準等の提示や説明など検討してください。

(3) 成績評価の客観性：2年生、4年生の約2割がそのような科目が1科目以上あったと感じています。客観的な評価基準や指標の客観性を再度点検してください。

(4) 成績評価の妥当性：2年生、1年生、4年生のおおよそ2割がそのような科目が1科目以上あったと感じていました。科目の目標との整合性等も含め、評価指標や方法の妥当性を検討してください。

(5) 成績評価の公平性：2年生、3年生、4年生のおおよそ2割がそのような科目が1科目以上あったと感じていました。どのようにして、公平性を担保するための評価基準や方法の丁寧な説明などの対応策をご検討ください。

下記3に示す自由記述では、評価の方法の妥当性や公平性に関する具体的な疑問や要望がありました。自由記述の内容も参考に上記についてご検討のほどよろしく申し上げます。

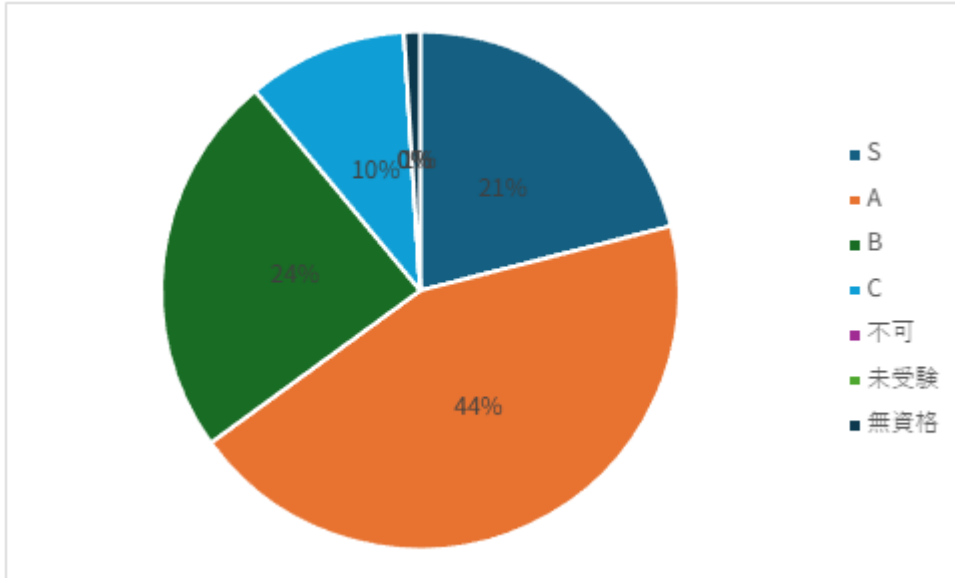
3.検討してほしい科目についての回答（自由記述）

（添付資料）

1. 専門基礎科目および専門科目全体の成績分布

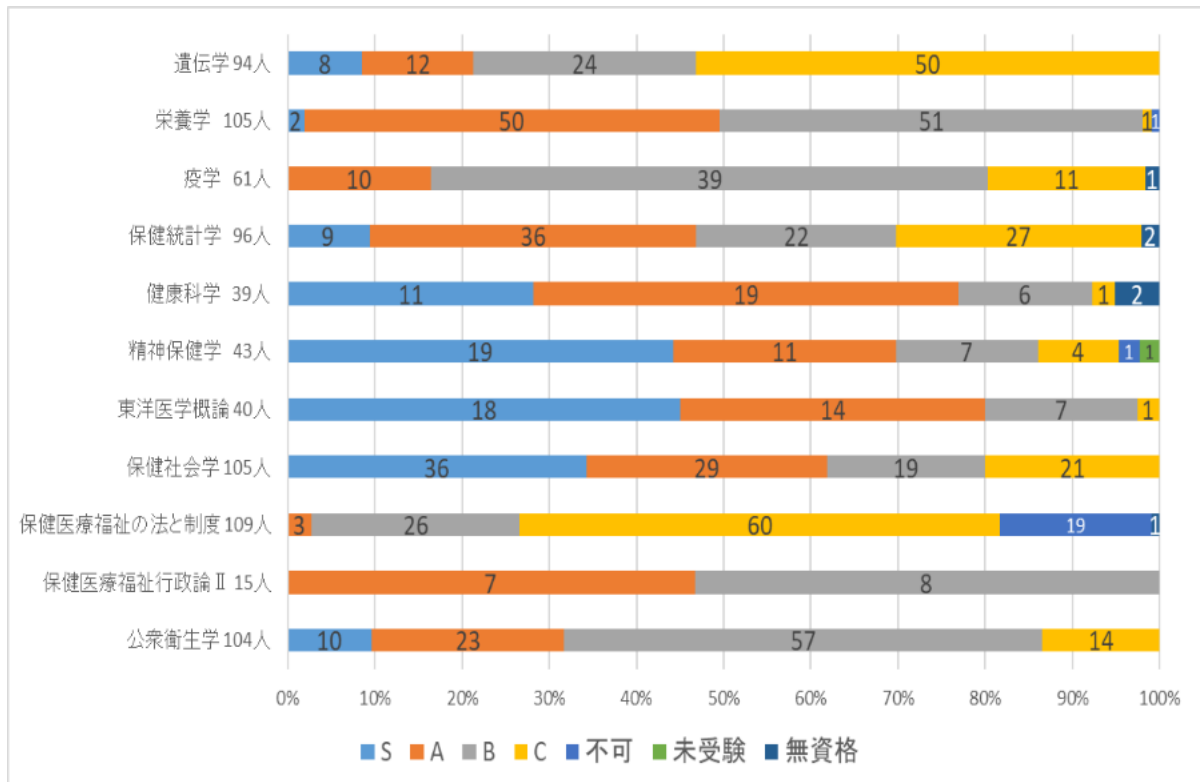
(添付資料)

1. 専門基礎科目および専門科目全体の成績分布

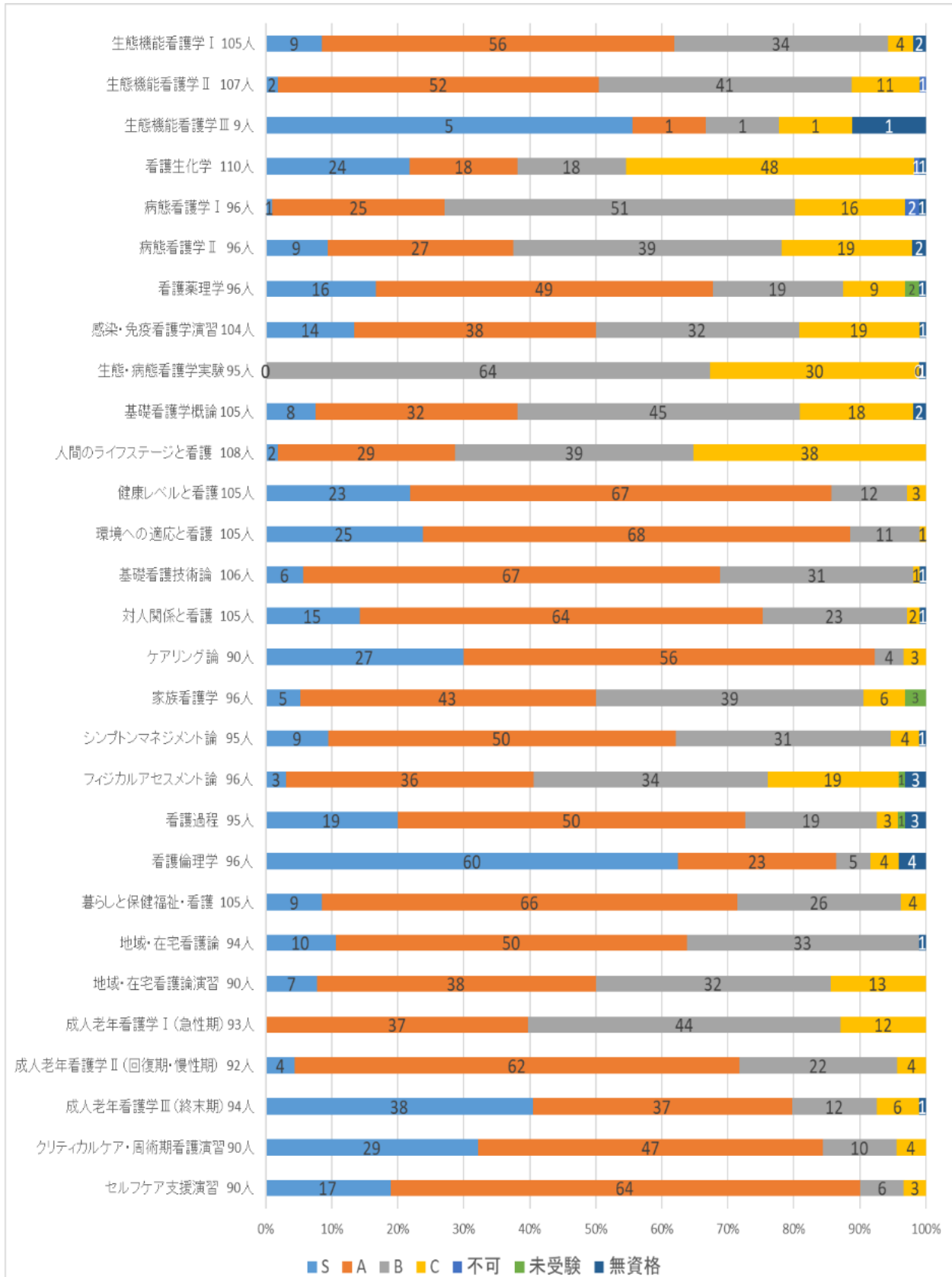


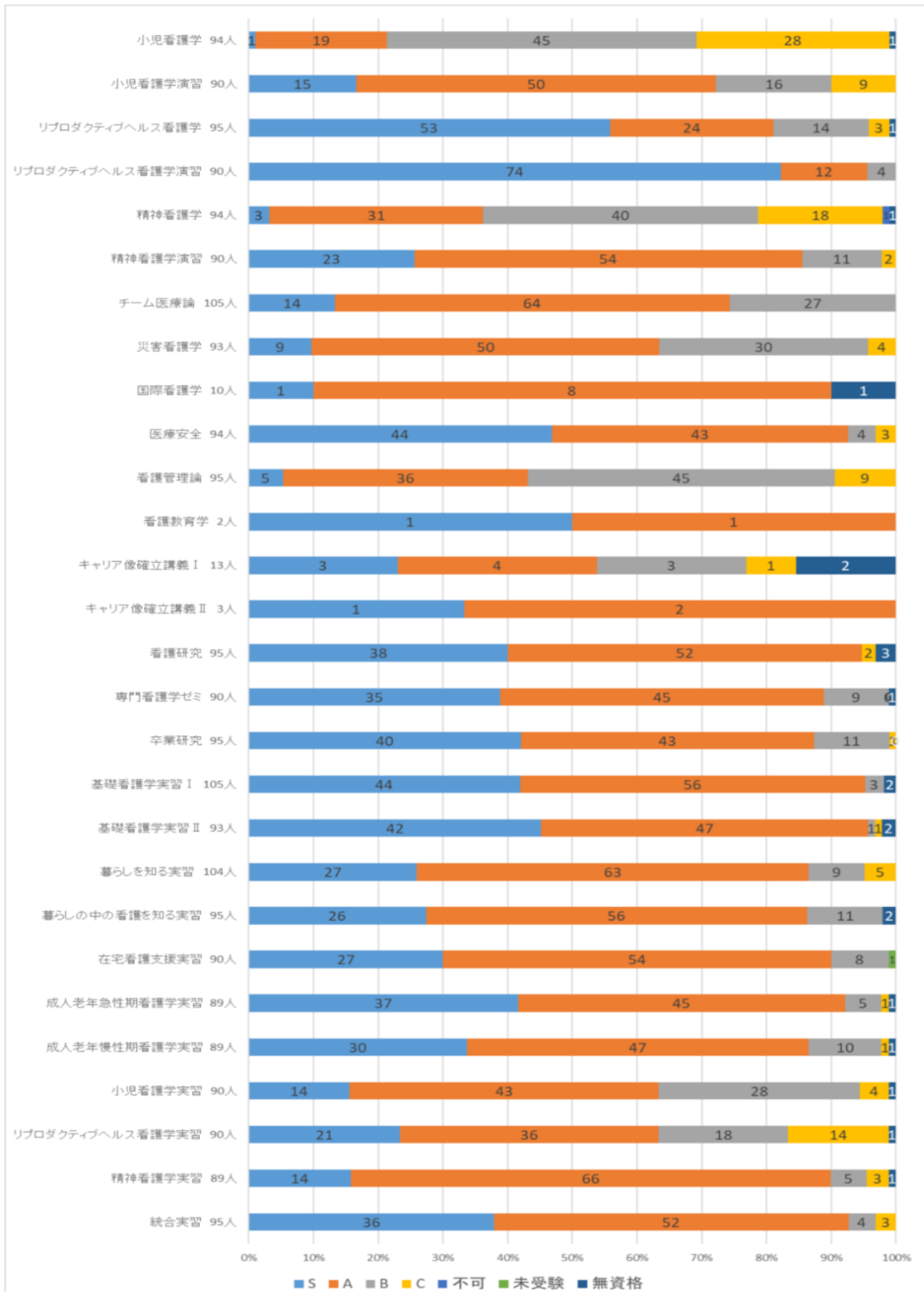
2. 各授業の成績分布

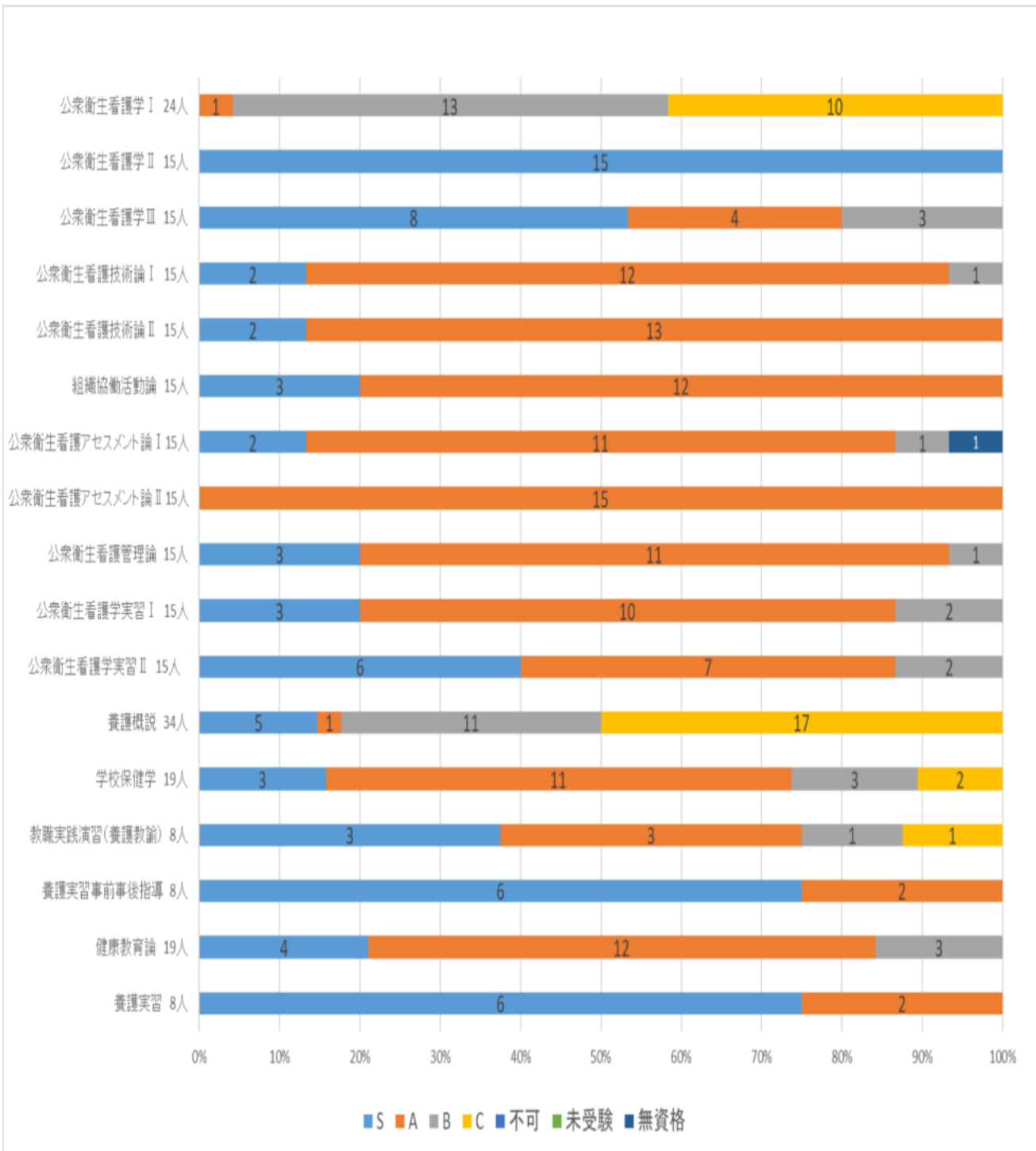
1) 専門基礎科目



2) 専門科目







看護学部 カリキュラムツリー

知識・技能		思考・判断・表現	主体性・多様性・協働性
DP1	DP2	DP3	DP4
<ul style="list-style-type: none"> ・場内において定められた幅広い基礎的知識を有している。 ・人間を理解するための学術的な幅広い知識を有している。 ・看護の専門知識および専門領域に属する臨床的知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場内において定められた汎用的技能を身につけている。 ・看護を提供するための基礎的な技能を有している。 ・看護を看護するためにの専門的な技能を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場内における専門問題について、幅広い分野の知識をもとに、必要な情報を収集、分析し、表現することができる。 ・看護に関する課題について、情報を収集、分析し、表現することができる。 ・高い倫理観をもち、対象の抱えている健康問題の背景を多面的視点から論理的に思考・判断できる。 ・他者の意見を適切に受け入れる姿勢をもち、自らの意見を適切に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化や価値観を理解し、これら尊重しながら他者と共に生きていく姿勢を身につけている。 ・健康・医療に関する自然現象に法的に取組む力を身につけている。 ・人々の健康の維持増進、生活の質向上のために、多職種と連携する積極的な力を身につけている。

取得単位・履修	看護学部が設定する資格				保健師国家試験受験資格	看護師二種免許取得	看護師一種免許取得
	英語検定*	保健師国家試験**	公費給付	保健師国家試験受験資格	看護師二種免許取得	看護師一種免許取得	
4年次				<ul style="list-style-type: none"> ・看護実習 ・実習後評価 ・実習後評価 ・総合実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師国家試験受験資格 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師二種免許取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師一種免許取得
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ・Advanced English Achievement* 		<ul style="list-style-type: none"> ・保健師国家試験** ・臨床心理学* 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナースリブ編 ・地域・在宅看護論実習 ・ナースリブ編(ア)・(B)実習 ・ヘルプアップ実習 ・小児看護学実習 ・リハビリテーションヘルス実習 ・看護学実習 ・精神看護学実習 ・看護学実習 ・キャリア開発立課程1* ・専門看護学実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅看護学実習 ・成人老年急性期看護学実習 ・成人老年慢性期看護学実習 ・小児看護学実習 ・リハビリテーションヘルス実習 ・精神看護学実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・公費給付 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師二種免許取得 ・看護師一種免許取得
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ・総合英語①・② ・コア英語①-③・④* ・中国語①-③・④* ・仏語①-③・④* ・独語①-③・④* ・社会人基礎力実習* 	<ul style="list-style-type: none"> ・データベース編* ・情報ネットワーク編* ・問題解決実習* ・日本語ライティング* 	<ul style="list-style-type: none"> ・医学** ・保健師国家試験** ・臨床心理学** ・精神保健学** ・東洋医学概論** 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健看護学①・② ・看護実習 ・生物・医療看護学実習 ・医療看護学 ・シンプソンマナジメント編 ・デジタルヘルスマネジメント編 ・看護倫理 ・看護心理学 ・地域・在宅看護論 ・成人老年看護学①(急性期・慢性期) ・成人老年看護学②(終末期) ・小児看護学 ・リハビリテーションヘルス看護学 ・精神看護学 ・公衆看護学 ・国際看護学 ・医療社会学 ・看護倫理* ・看護研究 ・公費給付 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅看護学実習 ・成人老年急性期看護学実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・公費給付 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師二種免許取得 ・看護師一種免許取得
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ・トリプル・イノベーション①・② ・IC・ロビー・ECONO①・② ・コア英語①-③・④* ・中国語①-③・④* ・仏語①-③・④* ・独語①-③・④* ・海外語学実習事前指導* ・海外語学実習* ・Introduction to Studying in English* ・情報的実習① ・情報的実習②*** ・教養実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業前・卒業後実習編* ・卒業前・卒業後実習編* ・プレ・インターンシップ* 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢学* ・看護学 ・保健師国家試験 ・保健師国家試験の法と制度 ・公衆衛生学 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物学的看護学①・② ・看護学 ・化学・生物看護学実習 ・看護看護学概論 ・人間のライフステージと看護 ・健康・ヘルスと看護 ・病後への対応と看護 ・看護倫理学概論 ・保健師国家試験 ・保健師国家試験 ・暮らしと保健福祉・看護 ・チーム医療 ・キャリア開発立課程1* ・ナースリブ・トレーニング実習* 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅看護学実習① ・暮らしと在宅実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・公費給付 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師二種免許取得 ・看護師一種免許取得
	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学 ・基礎看護学 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学 ・基礎看護学 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学 ・基礎看護学 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学 ・基礎看護学 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学 ・基礎看護学 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学 ・基礎看護学 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学 ・基礎看護学 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学 ・基礎看護学 			

アドミッション・ポリシー		
1. 高等学校等で履修した教科・科目について、基礎的な知識・技能を有している。	2. 情報をもとに分析する技能を身につけている。	3. 論理的に思考し、判断することができる。
4. 自らの考えを適切に表現することができる。	5. 様々な課題について主体的に取り組む姿勢がある。	6. 多様性を尊重し、多様な人と協働して取り組むことに意欲がある。

注1) 掲載している科目は一部である。
 注2) *は選択科目である。
 注3) **は選択科目のうち、保健師サブコースにおける資格必修科目である。
 注4) ***は選択科目のうち、看護師サブコースにおける資格必修科目である。
 注5) []は実習科目である。
 注6) []は看護学部の科目以外の看護師資格必修科目である。
 注7) ★は保健師免許取得後に、申請により取得できる資格である。

看護学部 カリキュラムマップ

1) 専門基礎科目

授業科目の区分と科目名		単位		方法	開講 年次	DP1	DP2	DP3	DP4
		必修	選択						
人間の見方と健康	遺伝学		2	講義	1	○	○	○	
	栄養学	2		講義	1	○		○	
	疫学		2	講義	2	○	○	○	○
	保健統計学	2		講義	2	○	○		
	保健社会調査論		2	演習	3	○		○	○
	健康科学		2	講義	2	○	○		
	臨床心理学		2	講義	3	○			
	精神保健学		2	講義	2	○			
	東洋医学概論		1	講義	2	○	○	○	○
人間と保健・医療	保健社会学	1		講義	1	○			○
	保健医療福祉の法と制度	1		講義	1	○			○
	保健医療福祉行政論		2	講義	4	○			○
	公衆衛生学	2		講義	1	○	○		
科学的思考の基礎 人間と生涯・社会の 理解	リーディング・ライティング①初・中・上級	1		演習	1	○	○	○	○
	リーディング・ライティング②初・中・上級	1		演習	1	○	○	○	○
	スピーキング・リスニング①初・中・上級	1		演習	1	○	○	○	○
	スピーキング・リスニング②初・中・上級	1		演習	1	○	○	○	○
	総合英語①初・中・上級	1		演習	2		○	○	○
	総合英語②初・中・上級	1		演習	2		○	○	○
	情報処理演習Ⅰ	1		演習	1		○	○	
	教養演習	1		演習	1	○		○	
実験看護学	生態機能看護学Ⅰ	2		講義	1	○		○	○
	生態機能看護学Ⅱ	2		講義	1	○		○	○
	看護生化学	2		講義	1	○	○	○	○
	病態看護学Ⅰ	2		講義	2	○		○	○
	病態看護学Ⅱ	2		講義	2	○		○	○
	看護薬理学	2		講義	2	○	○		
	感染・免疫看護学演習	1		演習	1	○	○		○
	生態・病態看護学実験	1		実習	2	○	○	○	○

2) 専門科目

基礎看護学	基礎看護学概論	2		講義	1	○		○	
	人間のライフステージと看護	1		講義	1	○		○	
	健康レベルと看護	1		講義	1		○	○	○
	環境への適応と看護	1		講義	1	○		○	○
	基礎看護技術論	2		講義	1	○	○	○	○
	対人関係と看護	1		講義	1		○	○	○
	ケアリング論	1		講義	3	○		○	○
	家族看護学	1		講義	2	○	○	○	○
	シンプトンマネジメント論	1		演習	2	○	○	○	○
	フィジカルアセスメント論	2		演習	2	○	○	○	○
	看護過程	1		演習	2	○	○	○	○
	看護倫理学	1		演習	2	○		○	○
地域・在宅看護論	暮らしと保健福祉・看護	2		講義	1	○	○		
	地域・在宅看護論	2		講義	2	○	○	○	○
	地域・在宅看護論演習	2		演習	3	○	○	○	○
成人・老年看護学	成人老年看護学Ⅰ（急性期）	2		講義	2	○	○	○	○
	成人老年看護学Ⅱ（回復期・慢性期）	2		講義	2	○	○	○	○
	成人老年看護学Ⅲ（終末期）	2		講義	2	○	○	○	○
	クリティカルケア・周術期看護演習	2		演習	3	○	○	○	○
	セルフケア支援演習	2		演習	3	○	○	○	○
小児看護学	小児看護学	2		講義	2	○		○	
	小児看護学演習	2		演習	3	○	○	○	○
リプロダクティブヘルス看護学	リプロダクティブヘルス学	2		講義	2	○	○	○	○
	リプロダクティブヘルス学演習	2		演習	3	○		○	○
精神看護学	精神看護学	2		講義	2	○		○	
	精神看護学演習	2		演習	3	○	○	○	○
看護の統合と実践	チーム医療論	1		講義	1	○	○	○	○
	災害看護学	1		講義	2	○	○	○	○
	医療安全	1		講義	2	○		○	
	看護管理論	1		講義	4	○		○	○
	看護教育学		1	講義	3		○	○	
	統合実践演習	1		演習	4	○	○	○	○
	看護情報学		1	演習	2	○	○	○	○
	看護研究	2		講義	2		○	○	○
	専門看護学ゼミ	2		演習	3	○	○	○	○
	卒業研究	2		演習	4	○	○	○	○

臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1		実習	1	○	○	○	○
	基礎看護学実習Ⅱ	2		実習	2	○	○	○	○
	暮らしを知る実習	1		実習	1	○	○	○	○
	暮らしの中の看護を知る実習	1		実習	2	○	○	○	○
	在宅看護支援実習	2		実習	3	○	○	○	○
	地域包括支援実習	1		実習	4	○		○	○
	成人老年急性期看護学実習	3		実習	3		○	○	○
	成人老年慢性期看護学実習	3		実習	3		○	○	○
	小児看護学実習	2		実習	3	○	○	○	○
	リプロダクティブヘルス看護学実習	2		実習	3	○	○	○	○
	精神看護学実習	2		実習	3	○	○	○	○
	統合実習	3		実習	4	○	○	○	○
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学Ⅰ		2	講義	2	○		○	
	公衆衛生看護学Ⅱ		2	講義	4	○		○	
	公衆衛生看護学Ⅲ		1	講義	4	○	○	○	○
	公衆衛生看護学アセスメント論Ⅰ		2	演習	3	○	○	○	○
	公衆衛生看護学アセスメント論Ⅱ		2	演習	4	○	○	○	○
	公衆衛生看護技術論Ⅰ		2	演習	4	○	○	○	○
	公衆衛生看護技術論Ⅱ		2	演習	4	○	○	○	○
	ハイリスク支援論		2	講義	4	○	○	○	○
	組織協働活動論		2	講義	4	○	○	○	○
	公衆衛生看護管理論		2	講義	4	○	○	○	○
	公衆衛生看護学実習Ⅰ		1	実習	4	○	○	○	○
	公衆衛生看護学実習Ⅱ		4	実習	4	○	○	○	○
学校保健	養護概説		2	講義	2	○	○		
	健康教育論		2	講義	3	○	○		
	学校保健学		1	講義	3	○	○		
	養護実習事前・事後指導		1	実習	4	○		○	
	養護実習		4	実習	4		○	○	
	教職実践演習（養護教諭）		2	演習	4		○	○	